



プリローダ

第70号
(NPO 第18号)



【ПРИРОДА】プリローダ＝ロシア語で「自然」という意味をあらわす

発行：2020年8月1日

むさしの・多摩・ハバロフスク協会は、東京都武蔵野市で生まれた、「寒帯林保全」、「自然体験活動」、「国際交流」などを行う NPO 法人です。

緑の募金国際緑化交付金助成事業 2020 記念植樹 in ハバロフスク報告 それでも、事業は引き継がれた！

日時：2020年5月4日（月） 参加者：ロシアメンバー 30 名
通訳：ウラジミール・オルロフ コーディネーター：エレナ・チェルニコワ

2020植林ボランティアツアーは14名の応募者があり準備万端でしたが、ロシア政府により3月18日から全ての外国人の入国制限が発令されたため中止となりました。

しかしながら、ハバロフスク関係者からの強い要望もあり、5月4日（月）に一部の植樹作業が実施されました。当時のロシアでは有給の非労働期間ではありましたが、スタッフを含め総勢30名限定の人数で許可され、ハバロフスク市南部郊外のイリインカ地区にて行われました。この場所では、今後、日本とロシアの青少年のための環境教育の場としても利用するために、新しくできた村の文化会館の周辺に友好の森を作るべく記念植樹を行いました。



また、現地からはオルロフ通訳にビデオ撮影を配信していただき、その様子を確認して、皆さんにお礼を申し上げることができました。

本来であれば、ブラゴベシチェンスク市も訪問する予定でしたが、来年にお会いできることを期待して残念ではありましたが、計画を中止することとなりました。

この植樹作業に先立って、当初4月29日（水）に太平洋国立大学講堂で環境セミナーを開催する予定でしたが、パーベル・リャブヒン自然利用・環境学部長の発案で同日にインターネット会議も行うことができました（4面参照）。



ご尽力をいただいたデニソフ前森林管理局長



歴史的な困難の中でも、植林ボランティアツアーの精神は引き継がれ、通算22回目の事業は中断されることなく実施できましたことをご報告いたします。

2020年度総会資料

2020年6月14日（日）午後3時からZOOMミーティングを利用して、2020年度定期総会を開催いたし、すべての事案が承認されましたのでご報告いたします。

議案第1号

2019年度 事業報告書

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

1 事業の成果

植林事業では、ハバロフスク市内の事業に加えアムールスク市においても記念植樹や環境会議を実施することができた。恒例の緑の少年団事業は、翌年のオリンピック年に関係して実施されることはなく委託がなかった。そのため、緑と花の視察事業としてサハリンまで足を延ばして事業を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【7,555】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ロシア植林における寒帯林の保全と国際協力事業	植林ボランティアツアー事業として緑の募金国際緑化直接事業の補助を受けて、植林活動を行った。	2019.4.28 ～5.8	ロシア極東 ハバロフスク地方	3	環境保護に 関心のある 日本・ハバ ロフスク地 方の人々	延べ100人	4,855.5
その他この法人の目的達成に必要な事業	植林事業の協力関係にあるハバロフスク日本センターから紹介を受けてサハリン日本センターと協力して視察事業を実施した。	2019.7.30 ～8.4	ロシア極東 ハバロフスク・ユジノ サハリンスク	2	協会会員	20人	2,651.1
その他この法人の目的達成に必要な事業	広報紙ブリーダを発行して広く活動を紹介した。	2019.10.1 2019.12.1		3	協会会員他 一般市民	500人	4.9

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)

議案第4号

2020年度役員・顧問について

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会役員のうち、以下のものを該当役員とする。(任期は2年とする)

変更年月日 変更事項	役名	(フリガナ) 氏名	住所又は居所
2019年 7月7日再任	理事長	アンリク アミ 安藤 栄美	東京都武蔵野市吉祥寺東町 1丁目15番25号
2019年 7月7日再任	副理事長	オカサキ ロウジ 長村 康司	東京都三鷹市新川1丁目14番11号
2019年 7月7日再任	副理事長	オガタ ケイコ 田崎 桂子	東京都小金井市東町1丁目17番6号
2019年 7月7日再任	理事	イダ オズマ 依田 和也	東京都府中市美和町1丁目11番地の2
2019年 7月7日再任	理事	オカサキ ショウジ 武川 俊二	神奈川県座間市相模が丘3丁目53番7号
2019年 7月7日再任	理事	オガタ ヒロユキ 永田 秀樹	山梨県甲府市山宮町3128
2019年 7月7日再任	理事	オシノ アキヒロ 菅野 昭彦	東京都武蔵野市桜堤3丁目36番地15
2019年 7月7日再任	理事	ヤマモト マイサコ 山本 誠一郎	東京都西東京市新町5丁目1番1号 セピアコート107号
2019年 7月7日再任	理事	ミウラ アキマサ 三浦 和真	東京都武蔵野市八幡町2丁目2番1号
2019年 7月7日新任	理事	ウチダ アキラ 内田 彰	東京都港区台場1丁目3番2-707号
2019年 7月7日再任	監事	タカハシ ヨシタカ 高橋 善数	東京都町田市鶴川2丁目15番地 2の105
2019年 7月7日再任	監事	オカワニ アツル 落合 恒	東京都武蔵野市境5丁目2番23号

2019年度 活動計算書

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

議案第2号

科目		金額	小計・合計
(A) 経常収益			
1 受取会費			225,000
正会員受取会費	86,000		
賛助会員受取会費	139,000		
2 受取寄附金		6,000	6,000
受取寄附金	6,000		
施設等受入評価益			
3 受取助成金等		2,000,000	2,000,000
受取助成金(植林事業)	2,000,000		
4 事業収益		2,855,624	5,508,274
植林事業収益	2,855,624		
夏視察事業収益	2,652,650		
5 その他の収益		5	5
受取利息	5		
経常収益計			7,739,279
(B) 経常費用			
1 事業費		5,000	5,000
(1) 人件費			
給料手当	0		
役員報酬	0		
作業日当	5,000		
(2) その他の経費		7,550,328	
植林費	1,272,000		
旅費交通費	4,588,091		
通信費	336,661		
雑費	417,660		
通信運搬費	9,344		
通訳翻訳費	273,117		
消耗品費	129,275		
印刷製本費	136,519		
会議費	13,430		
会費	10,000		
謝金	140,500		
支払手数料	14,551		
施設利用料	57,750		
保険料	151,430		
公租公課			
施設等経費費用			
減価償却費			
事業費計			7,555,328
2 (1) 人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
(2) その他の経費		265,996	
旅費交通費	16,990		
通信運搬費	44,684		
接待交際費	24,577		
消耗品費	53,077		
印刷製本費	55,357		
会議費	1,588		
支払手数料	68,673		
寄附金入料	14,551		
広告費	1,050		
減価償却費			
経常費用計			265,996
経常増減額			7,821,324
当期経常増減額 (A)-(B)・・・①			-82,045
(C) 経常外収益			
固定資産売却益	0		
固定資産売却損	0		
経常外収益計			0
(D) 経常外費用			
固定資産売却損	0		
災害損失	0		
経常外費用計			0
当期経常増減額 (C)-(D)・・・②			0
当期経常増減正味財産増減額 ①+②・・・③			-82,045
法人税、住民税及び事業税・・・④			
前期繰越正味財産額・・・⑤			725,984
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤			643,939

特定非営利活動法人

むさしの・多摩・ハバロフスク協会 顧問名簿

2020年度の「特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会」の顧問は、下記のとおりである。

令和2年6月14日現在

氏名	就任日
顧問 秋山 智英	平成21年4月18日
顧問 土屋 正忠	平成21年4月18日
顧問 稲葉 孝彦	平成21年4月18日
顧問 中野 哲夫	平成21年4月18日
顧問 長島 昭	平成23年6月26日
顧問 田村 俊介	平成25年6月20日
顧問 矢内 秋生	令和2年6月14日

議案第5号

議案第6号

2020年度事業計画(案)

2020年4月1日から 2021年3月31日まで

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

1 事業実施の方針

植林活動においては地球温暖化防止および溶存鉄生成のための寒帯林保全に加え、環境教育活動にも力をいれ、ハバロフスク市とブラゴヴェシチェンスク市で活動を行う。国土緑化推進機構の委託事業は2020年はオリンピックの関係で休止となる。そこで、10月に協会主催行事として日本においてロシア料理を楽しむ会を催し、ロシア文化の啓蒙に努める。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【5,100】千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の予定額(千円)
2020植林ボランティアツアー事業	緑の募金国際緑化直接事業の補助を受2020.4.28~けて、植林活動を行う2020.5.6		ロシア極東ハバロフスク地方	3	会員ほか広く延べ150	5000
ロシア料理を楽しむ会事業	国内においてロシア料理を堪能する主催事業を行う。	2020.10	東京	2	会員ほか広く10	50
ブリーロード(広報紙)発行事業	広報紙を発行して広く活動を紹介する。	年間1回		3	会員ほか広く500	50



2019年度 貸借対照表

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

科	目	金額	小計・合計
【A】 資産の部			
1 流動資産			3,148,139
	現金	836,451	
	三菱UFJ銀行	381,833	
	ゆうちょ銀行	67,971	
	前払植林事業費	1,861,884	
流動資産合計・・・①			3,148,139
2 固定資産			0
(1) 有形固定資産			0
	車両運搬具	0	
	什器備品	0	
(2) 無形固定資産			0
	ソフトウェア	0	
	借地権	0	
(3) 投資その他の資産			0
	敷金	0	
	長期貸付金	0	
固定資産合計・・・②			0
【A】 資産合計 ①+②			3,148,139
【B-1】 負債の部			
1 流動負債			2,504,200
	前受会費	124,000	
	前受植林事業収入	1,580,200	
	前受植林補助金収入	800,000	
流動負債合計・・・③			2,504,200
2 固定負債			0
	長期借入金	0	
	退職給付引当金	0	
固定負債合計・・・④			0
負債合計 ③+④			2,504,200
【B-2】 正味財産の部			
	前期繰越正味財産額	725,984	
	当期正味財産増減額	-82,045	
正味財産合計			643,939
【B】 負債及び正味財産合計 【B-1】+【B-2】			3,148,139

2020年度 活動計画書(案)

特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】 経常収益			
1 受取会費			250,000
	正会員受取会費	100,000	
	賛助会員受取会費	150,000	
2 受取寄附金			10,000
	受取寄附金	10,000	
3 受取助成金等			1,600,000
	助成金等受入評価益		
	受取補助金(植林事業)	1,600,000	
4 事業収益			3,440,000
	植林事業収益	3,400,000	
	ロシア料理を楽しむ会事業収益	40,000	
	ブリーロード事業収益	0	
5 その他の収益			0
	受取利息	0	
経常収益計			5,300,000
【B】 経常費用			
1 事業費			0
(1) 人件費			0
	給料手当	0	
	役員報酬	0	
	労務費	0	
(2) その他経費			5,100,000
	植林費	1,100,000	
	会場費	20,000	
	旅費交通費	2,000,000	
	宿泊費	360,000	
	食費	500,000	
	通信運搬費	100,000	
	通信料	200,000	
	消耗品費	80,000	
	印刷製本費	150,000	
	会費	10,000	
	接待交際費	10,000	
	謝金	300,000	
	支払手数料	70,000	
	施設利用料	50,000	
	保険料	150,000	
	公費公課	0	
	施設等評価費用	0	
	減価償却費	0	
事業費計			5,100,000
2 管理費			0
(1) 人件費			0
	役員報酬	0	
	給料手当	0	
(2) その他経費			200,000
	旅費交通費	20,000	
	通信運搬費	30,000	
	通信料	200,000	
	消耗品費	30,000	
	印刷製本費	20,000	
	会費	10,000	
	支払手数料	80,000	
	広告費	0	
	減価償却費	0	
管理費計			200,000
経常費用計			5,300,000
当期経常増減額 (A)-(B)・・・①			0
【C】 経常外収益			
	固定資産売却益	0	
	固定資産売却損	0	
経常外収益計			0
【D】 経常外費用			
	固定資産売却損	0	
	災害損失	0	
	減価償却費修正損	0	
経常外費用計			0
当期経常外増減額 (C)-(D)・・・②			0
税引前当期正味財産増減額 ①+②・・・③			0
	法人税、住民税及び事業税	0	
	前期繰越正味財産額	643,939	
次期繰越正味財産額 ③+④			643,939

2019年度監査 報告書

2019年度「特定非営利活動法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会」

収入支出決算書および事務執行については、2020年5月25日に監査に付され、帳簿・領収書ならびに関係書類を照合した結果、決算の計数は正確なものであり、また、事務は適正に執行されていることを認めます。

2020年5月25日

監事 落合 恒

監事 高橋 善数

※ 議案第3号は役員報酬の有無を示す資料ですが、全員が報酬を受けておらず、議案第4号とほぼ同じ様式なので省略しました。



太平洋国立大学 / むさしの・多摩・ハバロフスク協会共催

環境セミナー ネット会議報告

今年は20年以上続いているハバロフスク植林ボランティアツアーが新型コロナ感染症騒ぎで中止になり、ロシア側関係者だけによる植林のほか、ネット利用による太平洋国立大学と協会との環境セミナーが実施されました。ここではセミナーの様子を私の感想を交えてご報告します。

2020年4月29日午前10時（ハバロフスクは11時）からセミナーが開始されました。直前に調整時間があり、安藤理事長がコンピューターを振って自宅の庭を写したりして一挙に和やかな雰囲気になりました。ロシアと日本の間のシステムは予想以上にスムーズにつながり、画面も鮮明でした。

最初に太平洋国立大学のニコライ・ブガチョフ副学長から挨拶と、毎年当協会の活動を高く評価していると感謝の言葉が有りました。これを受けて安藤理事長が、今年の見聞中止は残念だが、ロシア側の皆様と画面を通じて交流できるのは嬉しいと挨拶しました。

リュドミラ・マイオロフ准教授からの報告では、衛星データの比較から、コロナ問題で世界のエネルギー活動が低下して世界の大気環境改善が進んでいると、興味深い指摘がありました。

パーベル・リャブヒン自然利用・環境学部長からは、太平洋国立大学における研究計画として、ドローンを利用するハバロフスクの環境調査や、日口の植林活動の成果調査を進める件が述べられました。

ニコライ・ヴィヴォドツェフ教授からは太平洋国立大学の様子や当協会元理事で当大学に留学していた小林亮介氏

のことなどが話されました。

日本側の報告として、まず安藤理事長が日本の新型コロナウイルス感染症の現状や武蔵野市への影響、そして日本でとられている対策をかなり詳しく報告しました。今回のセミナー開催日がまだ日本のゴールデンウィーク直前の不安な時期であり、ロシア側はまだ感染急増の直前の時期だったので、これは双方に関心の深い話題でした。

長島からは、今回の新型コロナウイルス感染症の影響で、国際交流にどのような影響が残るかとの予測や、感染症発生源ともなる野生動物の生息圏と開発の関係、大学教育とパンデミックの影響といった、やや広い視点での植林活動や環境保護活動について話しました。

新しい課題がたくさんあるので、隣国同士の日本とロシアの協力を盛んにすることは重要で、ハバロフスクとの交流は大きな価値があると強調しました。

私の個人的感想としては、今回のネットセミナーは終始なごやかな雰囲気、パーベル・リャブヒン学部長の司会もスムーズに進められました。オルロフ氏の通訳も適切で、会議は成功であったと思います。

現地を訪問する交流はこれからも当然続けるにしても、それに加えて今後もテーマを絞ってネットセミナーも開催し、会員や学生と一緒に視聴できるようにするのもよいでしょう。出来れば協会の外へも公開して、新会員勧誘や協賛団体獲得に役立てたいものです。コロナ騒ぎの早い終息と協会活動の発展を期待しましょう。

（顧問：長島 昭）

ブリローダ 第70号

発行日 2020年8月1日
 発行 NPO法人 むさしの・多摩・ハバロフスク協会
 住所 東京都武蔵野市吉祥寺東町1-15-25
 TEL/FAX 0422-23-5351
 E-mail mail@mtxa.org
 URL https://mtxa.org/
 発行人 安藤 栄美
 編集 田崎 桂子
 広報委員 長村康司、永田秀樹、落合 恒、木崎 剛、内田 彰、
 内田 央、内田 周
 印刷 巧芸印刷(株)

編集後記

令和も2年目を迎えた年の初めに、新型コロナウイルス感染症の拡大は世界を包み始め、とうとう未曾有の事態となりました。

ロシアにおける今年の植樹作業は何とか実施できたものの、来年の実施は白紙状態です。しかしながら、この困難を人類の叡智で乗り越え、これからも環境保全活動を続けて行くべく、努力をしていきたいと考えております。

今後とも、みなさまのご支援・ご協力を心からよろしくお願い申し上げます！